

フリガナ
氏名 _____ 教科 _____ 志望自治体① _____ ② _____ 校種 _____
_____ 学群 _____ 学類 _____ 年次 _____
_____ 研究科 _____ 専攻 _____ 年次 _____

【模擬授業指導案書式例】

日時: 年 月 日

対象: 学校 年 組

1. 単元（題材）名 （教科書、副教材等）

2. 単元（題材）の目標

3. 単元の評価基準

- a. 関心、意欲、態度
- b. 思考、判断、表現
- c. 資料活用の技能
- d. 知識、理解

4. 指導観

(1) 単元観（この単元の扱いについて）

→学習指導要領における位置づけや自校の学力スタンダードとの関連、教科の特性や単元（題材）の基礎的、基本的な内容を踏まえ、構成順序や時間配分、重点を置く指導要項等について記述する。

(2) 生徒観（生徒の実態について）

→本単元（題材）の学習内容に関する基礎的な既習事項の定着状況や授業を実施するクラスにみられる学習上の課題について記述する。

(3) 教材観（教材の活用について）

→授業で扱う資料や、各種教材、地域の人材、学習環境、ICT等をどのように活用するかを記述する。

5. 年間の指導計画における本単元の位置づけ

6. 単元の指導計画と評価計画（時間扱い）

	ねらい	学習内容・学習活動	具体的な評価基準 (評価方法)
第1時		導入: 展開: まとめ:	ア ~について関心を持ち、意欲的に~しようとしている。
第2時 (本時)			
第3時			

- ・ 観点ごとの評価基準を学習活動に即して具体的に記述する。
- ・ 1単位時間の中で、1~2項目の評価となるよう焦点化する。
- ・ 各時において、すべての観点で評価する必要はない。
- ・ 観察を中心とした授業中の評価とノートやワークシート、作品等による授業後の評価を適切に組み合わせる。

7. 指導の工夫

指導にあたって工夫・改善したこと等を3点程度記述する。

(例) 授業形態の工夫 (一斉指導と個別指導、少人数指導、グループ学習、TT等)
指導方法の工夫 (板書、発問、実験・実習、ICTの活用、言語活動の充実等)

8. 本時 (全 時間中の第 時間目)

(1) 本時の目標 (ねらい)

単元 (題材) の目標を達成するために、本時において、生徒にどのような力を身につけさせるのかを具体的に記述する。

(2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価基準 (評価方法)
導入 分			
展開 分			
まとめ 分			

(3) 板書計画